

校長室通信

南小国町立南小国中学校

令和元年 11 月 15 日 (金) No26

文責 狹間卓史



全力

10月20日(金)、小国支援学校の学習発表会(すぎのこまつり)が開催され、本校からは総勢13人(生徒11人、引率2人)で参加しました。

支援学校高等部には本校卒業生も学んでいますが、少しでも先輩生徒への応援になれたのだとしたらこんなに嬉しい事はありません。当日は支援学校の生徒が全力で発表する姿に接する事が出来て、学ぶ事がたくさんの機会となりました。

また、協力してくれた本校生徒は全員が自主的な参加でした。引率の興梠・志賀の二人からも本校生徒の表情や動きがとても良かったとの報告を受けましたが、私もその場で生徒や引率者の姿を見ていたのですが、参加した全員がその場の雰囲気を楽しんでいる様子が伝わってきて嬉しい姿でした。

地域の一員として

11月3日(日)、本町文化協会主催の「みなみおぐに文化祭」が市原小学校体育館で開催されました。本校からも小国高校吹奏楽部との合同で参加した吹奏楽部の生徒をはじめとして、バレーや少林拳等の習い事をしている生徒の発表など、日頃の取組を知る事が出来る貴重な機会となりました。本校生徒の習字や絵画作品も展示してありましたが、開会式の中では募集された俳句コンクールの表彰もありました。五七五の限られた文字数の中で南小国町の季節感が織り込まれており、生徒の感性の豊かさにあらためて気づかされました。



【優秀賞：河津洸哉さん】

【秀句：泉妃奈さん・山本絢音さん】

命を守る力

10月31日未明に発生した首里城火災のニュース映像には驚かれた方も多かったのではないかと思います。その思いは昨年・今年と修学旅行で首里城を訪れた経験のある本校3年生・2年生にとっても同様だったようです。

先週6日(水)には阿蘇広域行政事務組合消防本部北部分署ご協力のもと、本校生徒寮でも火災避難訓練を実施しました。あらためて日頃の生活を見直すとともに、万が一に備えること、そして命を守るための訓練が大切である事を感じています。これから寒さも増していきます。各ご家庭でも火の取り扱い等にはくれぐれもお気をつけください。



【訓練の積み重ね】

挑む

10月25日(金)、高森中学校との遠隔交流授業に取り組みました。

本町教育委員会は高森町教育委員会と連携した ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) 教育に取り組んでいますが、この日は高森町で400人以上を集めた研究発表会が行われ、全国各地からの参加者がありました。本校からは高宮教諭による英語の交流授業に取り組みましたが、この日を迎えるにあたっては、授業者の高宮教諭に加えて本校研究主任の古庄教諭らが数週間をかけての準備と事前授業を積み重ねてのことでした。



【タブレット8台を使っでの交流】

機材を含めて改善すべき点は多々ありますが、一番の肝は新しいことに挑もうとする職員の姿勢にあります。ICTの活用は間違いなく学びの世界を拓けます。そして授業を変えます。私たち教職員は、生徒の前に立つ身であるからこそ、常に学び続ける者でありたいと思っていますし、変わることに挑む気持ちを忘れない職員集団でありたいと思っています。